

(財)赤岩公德体財団便り

赤岩公德体財団理事長ご挨拶



理事長：赤岩達重

皆様方には平素から当財団の活動に対してご理解とご支援を賜り深く感謝いたします。

特に今年は東日本大震災という未曾有の大災害に見舞われ日本中がかつてない震撼と痛恨に覆われる事態に至りました。震災で犠牲になられた方々に対して心から哀悼の意を捧げます。私事で恐縮ですが私の実弟も特に被害が大きかった石巻市で事業をやっておりまして、震災発生直後から10日間近く全く連絡が取れず安否を心配しておりましたが、幸いに家族ともども無事が確認でき胸を撫で下ろしたものでした。

早速、メイト本社と社員一同からの義援金を山陽新聞社会事業団を通じてお届けさせていただきました。



2011年3月22日(火) 山陽新聞社にて

また、私の所属する経済同友会でも「東北復興院の設置」「特区の活用による迅速な復興」「民間資金を含め、あらゆる手段で復興財源を確保」「日本の信頼回復に向けて、世界に情報発信」などの提言をまとめて国に提出いたしました。これまで数度となく世界に賞賛された奇跡的復興を、この災害においても成し遂げることが我々に今課せられています。微力ながら出来る限りのお手伝いをさせていただき所存です。

一方で日本中を明るくしてくれた快挙もありました。岡山湯郷ベルの二人も大活躍した“なでしこジャパン”のワールドカップ優勝は、恵まれた環境ではない女子サッカーにおいても高い志と、逆境にあっても決してあきらめない強い気持ちによる大きな成果に、心からの感動と日本女性のすばらしさに日本中が励まされました。彼女たちの通った道のりは、日本復興への模範とすべき点が多々あると感じています。

私どものスポーツを通じて青少年を世界に通用する人材に育てるという活動は“なでしこジャパン”の活躍と、震災復興を果たさねばならない状況から、青少年育成の意義を新たにするとともに、今後益々の充実を図っていくことをお誓い致します。



サッカーワールドカップ なでしこジャパン優勝

今年(2011年度)の事業

1. スポーツ少年団への助成事業

助成対象：10団体
助成金額：1団体あたり10万円以内

2. メイトカップの後援

主催：佐伯ソフトボールスポーツ少年団
後援：(財)赤岩公德体財団
日程：2011年11月12日(土)実施予定
場所：和気総合グラウンド

3. 2011年度 第4回記念講演会

日程：2012年2月26日(日)
場所：学び館「サエスタ」
(和気町父井原)
講師：古賀稔彦先生
(元柔道オリンピックメダリスト)



前年(2010年度)の主な活動報告

2010年5月8日

第5回理事会・評議会開催

2010年5月23日

10団体に2010年度助成金授与

2010年9月18日

第5回 メイトカップ開催

2011年2月13日

第6回理事会・評議会開催

2011年2月13日

2010年度 第三回記念講演会 開催

講師：宇津木 妙子 先生
演題：『宇津木魂』



佐伯ソフトボールスポーツ少年団交歓大会
第5回 ◆メイトカップ

今年(2011年度) 助成金 採択団体のご紹介

2011年度の活動助成金を公募したところ、県内から24団体のお申し込みをいただきました。提出いただいた活動状況報告書などから審査・討議し、以下の10団体を採択させていただきましたので、ご紹介致します。

＜ご紹介内容＞		
団体名 [住所]		
児童数	年間試合数(練習試合数・大会での試合数)	
練習曜日	1回の練習時間	練習の参加率



助成金授与式にて 5月23日(金)

サッカー



軟式野球



バレーボール



リーデル瀬戸内サッカースポーツ少年団[瀬戸内市]		
50名	50試合(30試合・20試合)	
火・土・日	3時間	80%

ヤング山陽スポーツ少年団[岡山市]		
27名	100試合(50試合・50試合)	
土・日	4時間	99%

山陽ジュニアバレーボールスポーツ少年団[赤磐市]		
16名	28試合	
月・金	3時間	95%

卓球



芥子山アース軟式野球スポーツ少年団[岡山市]

29名	152試合(77試合・75試合)	
木・土・日	2時間	95%

片上バレーボールスポーツ少年団[備前市]		
10名	40試合(20試合・20試合)	
木・土	2-3時間	98%

瀬戸内卓球スポーツ少年団[岡山市]		
20名	125試合(20試合・105試合)	
火・金・土	3時間	70%

牛窓シーファイターズ軟式野球スポーツ少年団[瀬戸内市]		
28名	62試合(37試合・25試合)	
土・日・祝日	7.5時間	95%

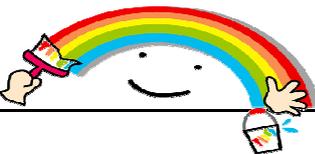
岡山御津スポーツ少年団・ソフトボール部[岡山市]		
34名	65試合(25試合・40試合)	
土・日	4時間	95%

剣道



長船第一剣道スポーツ少年団[瀬戸内市]		
21名	16試合(6試合・10試合)	
火・金	1.5時間	90%

桜パワースポーツ少年団[赤磐市]		
21名	60試合(20試合・40試合)	
土・日	4時間	95%



前年(2010年度) 助成団体の活動報告

《2010年度の助成団体(全10団体)》

- 長船フレンズ軟式野球スポーツ少年団
- 佐伯ソフトボールスポーツ少年団
- 吉永ソフトボールスポーツ少年団
- 瀬戸内邑久ソフトボールスポーツ少年団
- 寒河剣道スポーツ少年団
- 横井スポーツ少年団バレー部
- 日生バレーボールスポーツ少年団
- 佐伯バレーボールスポーツ少年団
- 香登バレーボール少年団
- 赤坂スポーツ少年団

《練習・試合の状況》

平均練習日数 … 2.7日/週
 平均参加率 … 97%
 平均2010年度試合数 … 57試合

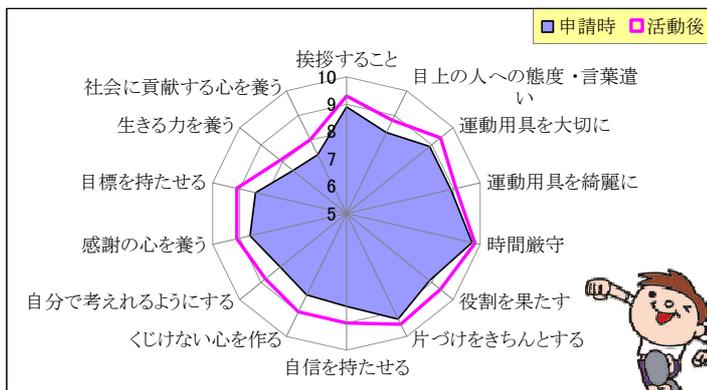
《2010年度活動評価・報告》

2010年度助成団体にスポーツ以外で重視していることについての点数付けを10点満点で行っていただき、それを平均したものが右の表です。

申請時(2010年4月)、活動後(2011年3月)でそれぞれ評価していただいたところ、全項目での点数が上昇しており、特にくじけない心・感謝の心・生きる力等の”心構え”の項目が特に大きく上昇していました。

《練習・試合以外の活動》

- 地域奉仕活動(ゴミ拾い)
- 廃品回収
- バーベキュー大会
- 他団との合流合宿
- 防火夜回り
- 小学校環境整備
- 駅伝大会・マラソン大会
- 卒団旅行
- 救命講習会参加



お礼のお手紙のご紹介

私達に助成金を下さってありがとうございました。その助成金で新しいボール、モルテン・ミカサを買わせていただきました。新しいボールは試合球と同じなので、そのボールで練習し、慣れることができたおかげで一勝することも無かったチームが優勝等良い成績を修めることが出来ました。それからユニフォームも新しく作り変え、気持ちが入り替わりチームが団結できたと思います。本当にありがとうございました。

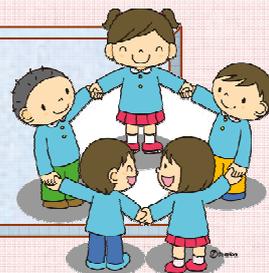
このたびは僕たちのために助成金をありがとうございました。おかげで、新しいヘルメットや砂ボールを買うことができ、新しい練習をすることができてとても嬉しかったです。僕たちはこの少年団で技術はもちろん、挨拶やマナー、そして感謝の気持ちを学び、入団する前より心も身体も成長することができました。中学校に入っても、学んだことを生かして大好きな野球を続けて行きたいと思います。本当にありがとうございました。これからも頑張ります!

このたびは助成金をくださってありがとうございました。お陰で今までよりもたくさん試合に出れて、中でも今年初めて行った鳥取県境港市での交流試合では初めて会った人と仲間になることができ、とても楽しくいい思い出ができました。これは普段から稽古以外でもしっかりと挨拶をすることを学んだり、仲間への気遣いのできたからだと思います。これからも素直な気持ちで稽古を頑張り、多くの試合に出場することで仲間を作り、自分自身を鍛えていきたいです。

赤岩公徳体財団が目指す人づくり

理念

徳育・知育・体育の成長を図るため、スポーツ活動を通じて、世界に通用する豊かな人格の涵養と自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与し、誇りを持てる青少年を育成する指導者を養成する。



自立する青少年

助け合う・学び合う・鍛え合う

知育

自らの可能性を信じ、知識・技術の練磨に努め、自分を高める努力を重ねる。

徳育

個性を尊重して、社会的規範、感動する心、思いやりや感謝の心など豊かな人間性を身につける。

体育

スポーツを通じて他者と協調し心身の健全な育成につとめ共に生きる。

5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします
2. 思いやりと感謝の心を持ちます
3. 率先して、目標に向かって常に努力します
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します



古賀 稔彦さん による講演会開催!

夢への挑戦

バルセロナ五輪
アトランタ五輪
柔道メダリスト

古賀 稔彦 先生

講師

とき

2012年2月26(日) 13:00~14:30

場所

学び館「サエスタ」

(住所:和気町父井原430 TEL:0869-88-9110)

入場無料



プロフィール

1967年佐賀県出身。中学に進学と同時に上京、「講道学舎」に入門。弦巻中、世田谷学園高時代に数々の全国大会を個人・団体戦で制覇。日本体育大学進学後「平成の三四郎」の異名をとり、日本選抜選手権や世界選手権を連覇。92年のバルセロナ五輪では、大会直前の大ケガを背負いながらも金メダルを獲得。両手を広げ雄たけびを上げ日本中の感動を呼んだ。96年のアトランタ五輪でも銀メダルを獲得。00年4月に現役引退。

その後、人の夢の後押しをする指導者の道に魅せられ、全日本女子柔道チーム強化コーチを務める傍ら、03年4月には子供の人間育成を目的とした町道場「古賀塾」を開塾。04年のアテネ五輪では、金メダルを獲得した谷本歩実のコーチとしても脚光を浴びる。07年4月からはIPU環太平洋大学の女子柔道部総監督として活躍する他、08年日本健康医療専門学校校長に就任。

主な戦績

弦巻中学生時代

全国中学校選手権大会
2年 団体 一位、3年 団体二位・個人 一位

世田谷学園時代

金鷲旗大会 2年 団体 一位、3年 団体 一位
インターハイ 2年 個人 一位、3年 団体 二位・個人 一位
フィンランド国際大会 3年 個人 一位

その後の実績

87~92年 全日本選抜体重別選手権 一位
88~92年 全日本体重別講道館杯 一位
92年 バルセロナオリンピック 金メダル
95年 幕張世界選手権 一位
96年 アトランタオリンピック 銀メダル



(財)赤岩公徳体財団便りについて

発行者: (財)赤岩公徳体財団事務局
〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3
TEL/0869-88-0243 担当/入江・竹山
発行: 年2回

ご意見・ご感想等は
こちらまでお願い
致します。

